

イル・ポモドーロ with フランチェスコ・コルティ



Evgenii Sviridov

Giulio D'Alessio

Riccardo Coelati

Anna Dmitrieva

Cristina Vidoni

Guest
Liliko Maeda*

Francesco Corti

©il pomo d'oro

2025.1.19(日)

14:00開演(13:15開場)

青山音楽記念館
バロックザール

Program

J.S.バッハ: チェンバロ協奏曲 第1番 二短調 BWV 1052
C.P.E.バッハ: フルート協奏曲 二長調 wq.13*
G.ヘンダ: チェンバロ協奏曲 へ短調
J.S.バッハ: ブランデンブルク協奏曲 第5番 二長調 BWV1050*

*出演者の意向により、当初発表から一部の曲が変更となりました。

©C.Doutre

入場料

一般5,000円(全指定席・税込)

チケット発売: 2024年9月26日(木) 12:00より

※チケット発売初日はバロックザール・オンラインチケットのみ取り扱い。
※翌日以降に残席がある場合は窓口販売あり。
※本公演はお電話での取り扱いはございませんので予めご了承ください。

当日学生券1,500円(全指定席・税込) ※要学生証

※公演当日に残席がある場合は、開場時間よりバロックザール窓口で販売します。
お電話またはHPにて発売情報をご確認の上、お越しください。
(事前の電話予約は出来ません。)

チケット購入方法

バロックザール・オンラインチケットにて販売 ※オンライン購入には会員登録が必要です。

お問い合わせ 青山音楽記念館 バロックザール
Tel.075-393-0011 受付=9:30~18:00(月・火/休館)

冬期休館: 2024年12月30日(月)~2025年1月7日(火)

主催 公益財団法人青山音楽財団



※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。
※未就学児のご入場はご遠慮ください。
※一度のお申込みにつき購入いただけるチケット枚数は4枚までとさせていただきます。
※お問い合わせいただいたチケットのキャンセル・変更等はいたしかねます。予めご了承ください。
※会場での録音・録画・写真撮影は固くお断りします。
※当公演のチケットは「特定興行入場券」です。定価を超える金額での転売は禁止されています。
※感染症対策のため咳エチケットにご協力ください。

バロックザールでお送りしている“バッソ・コンティヌオ”シリーズに、友人であるフランチェスコ・コルティ率いるイル・ポモドーロをお迎えすることができ、とても嬉しく思います。フランチェスコは2006年にバッハコンクールで優勝し、以降、ミンコフスキからルーヴル宮音楽隊へ招聘されたのを皮切りに世界的に活躍の場を広げ、2016年には調布国際音楽祭にも出演してくれました。初来日となるイル・ポモドーロは2012年設立の比較的新しいグループですが、古楽の分野でオペラと器楽アンサンブル作品の上演と録音で目覚ましい活動ぶりを示し、早くから世界的な評価を確立しています。今回のプログラムは、フラウト・トラヴェルソを愛したプロイセン国王フリードリヒ大王(大バッハの“音楽の捧げもの”の主題を創作したその人)の宮廷に仕えたバッハの二男、カール・フィリップ・エマニュエルのフルート協奏曲、そして同じく国王に仕えたフランツ・ベンダがベルリンへと招聘した弟、ゲオルク・ベンダのチェンバロ協奏曲を、大バッハの名協奏曲でサンドする“協奏曲の饗宴”。フラウト・トラヴェルソには、バッハ・コレギウム・ジャパンが誇る前田りりが登場して華を添えます。お聴き逃しなく。

鈴木優人

Il Pomo d'Oro with
Francesco Corti

“バッソ・コンティヌオ”
シリーズ

古典に限らず全ての音楽の土台となる“バッソ・コンティヌオ”(通奏低音)。低音の上に即興で奏でられる豊かな通奏低音の響きのように、バロック音楽を礎にクラシック音楽の楽しみ方が広がる、鈴木優人企画監修によるシリーズです。



©Nicola Dalmaso

■イル・ポモドーロ(古楽オーケストラ)

Il Pomo d'Oro

2012年設立。イタリアを本拠地とする室内管弦楽団で、バロック・古典派のオペラと器楽作品の正統派かつダイナミックな解釈と古楽分野最高のメンバーによる演奏を特徴とする。団体名は、1666年のアントニオ・チェスティがスペインのレオポルド1世とマルガリータ・テレサの結婚式の祝賀のために作曲したオペラ《イル・ポモドーロ(金のリンゴ)》に由来。イル・ポモドーロは、欧州の有名なコンサートホールやフェスティバルにゲストとして招かれ、多くの著名な指揮者が客演し、ヤクブ・ユーゼフ・オルリンスキ、フランコ・ファジョーリ、ジョイス・デイドナートなどの著名な歌手のコンサートで客演している。CD制作も活発で、オペラでは、ヘンデルの《アグリッピーナ》、《セルセ》(2019年フランコ・アッピアッティ音楽批評家賞、2020年国際クラシック音楽賞)など、器楽では、エメリヤニチェフとミナーシの指揮・独奏でハイドンのヴァイオリン・チェンバロ協奏曲集およびエドガー・モロー(チェロ)との共演(いずれも2016年エコー・クラシック賞)など。ギリシャの難民キャンプの子供たちに無料で音楽教育を提供するギリシャ・エル・システマの公式大使も務めている。2016年からエメリヤニチェフが首席指揮者、2018年からコルティが首席客演指揮者を務める。

www.ilpomodoro.org

■フランチェスコ・コルティ(指揮・チェンバロ)

Francesco Corti, conductor & cembalo

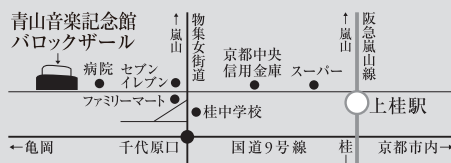
イタリア・アレツォの音楽一家に誕生。2006年国際バッハ・コンクールのチェンバロ部門第1位、2007年ブリュージュ国際古楽コンクールのチェンバロ部門最高位(第2位)。ソリストとして、欧州全域及び世界各地のコンサートに登場。ザルツブルク音楽祭、ライプツィヒ・バッハ音楽祭を始め多くの音楽祭に招かれ、パリのサル・プレイエル、ウィーンのコンツェルトハウス、アムステルダムのコンセルトヘボウなどの欧州主要ホールに登場。ルーヴル宮音楽隊、モーツァルト管弦楽団等へのソリストとしての参加、ル・コンセル・デ・ナシオン、アンサンブル・ゼフィーロその他古楽団体との共演、通奏低音担当としてロンドン交響楽団、ミラノ・スカラ座管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団などに出演するなど多彩な活動を行っている。バッハ・コレギウム・ジャパンや調布国際音楽祭への出演など日本での出演も増えている。近年指揮活動も始め、すでにオランダ・バッハ協会、ルーヴル宮音楽隊に登場。2018年よりイル・ポモドーロの首席客演指揮者に就任。多くのレーベルから多数の録音リリースがあり、ソロではレイ・クーブランの組曲集、バッハのバルティータ集などがある。2016年バーゼル・スコラ・カントルムのチェンバロ科教授に就任。

http://www.francescocorti.com

■前田りり子(フラウト・トラヴェルソ)

Liliko Maeda, flauto traverso

桐朋学園大学古楽科を経てデン・ハーグ王立音楽院の大学院を修了。山梨古楽コンクールにて第1位入賞。ブルージュ国際古楽コンクールにて2位入賞。現在バッハ・コレギウム・ジャパン、ソフィオ・アルモニコなどのメンバーとして活発な演奏活動を行っている。「フルートの肖像」を東京書籍より出版。小出信也、有田正広、バルトルド・クイケン各氏に師事。東京藝術大学、沖縄県立芸術大学非常勤講師。



阪急電車嵐山線「上桂」駅下車西へ300メートル
ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

Barocksaal
京都 青山音楽記念館

お問い合わせ: tel. 075-393-0011 9:30~18:00 月・火休館
〒615-8282 京都市西京区松尾大町9-1 https://barocksaal.com/

公益財団法人青山音楽財団

私たちは、音楽活動の普及と発展のための支援事業と音楽ホールの運営を行っています。

〈事業内容〉●主催公演事業●新人助成公演事業●助成公演事業●青山音楽賞[新人賞・青山賞・バロックザール賞]●育成支援事業[学校等支援事業・奨学金事業]●青山音楽記念館 バロックザール 運営
www.aoyama-music-foundation.or.jp